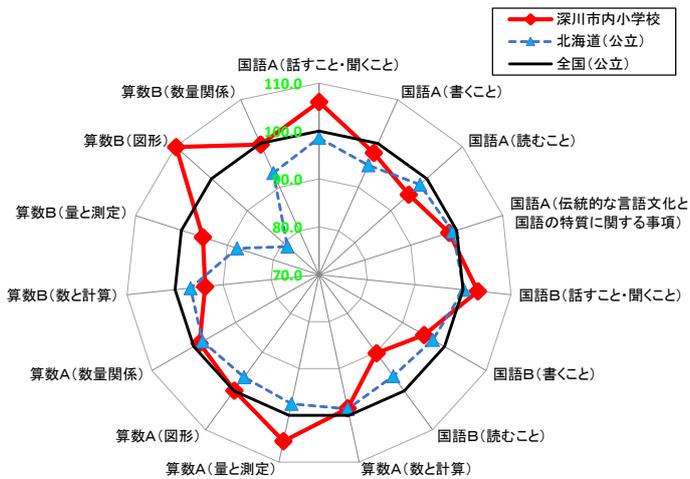


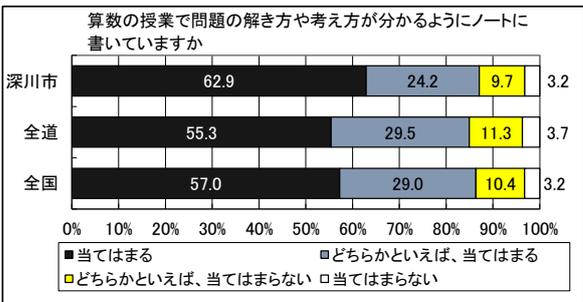
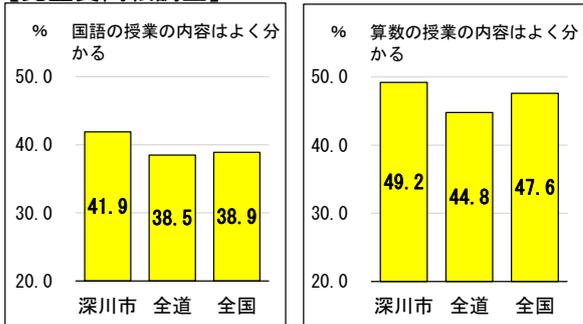
■ 深川市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 6校、児童数: 124人)

【教科全体の状況】

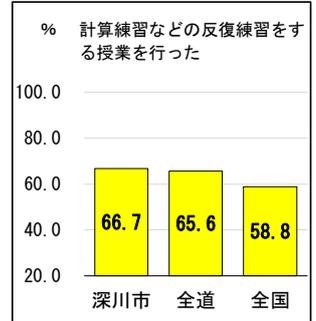
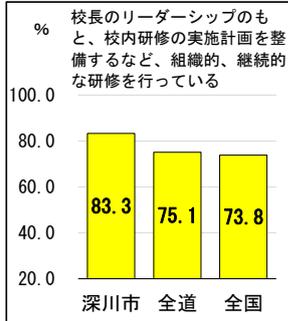
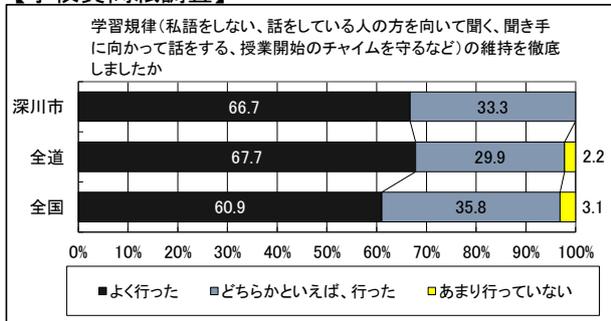
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、ともに「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」、Bでは、「図形」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習規律の維持を徹底する取組や校内研修の組織的、継続的な取組をよく行うとともに、指導の充実に努めた結果、国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が増え、国語A・Bの「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語、算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算問題などの反復練習をする授業をよく行った結果、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られ、算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が増えたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「校長のリーダーシップのもと、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修をよく行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

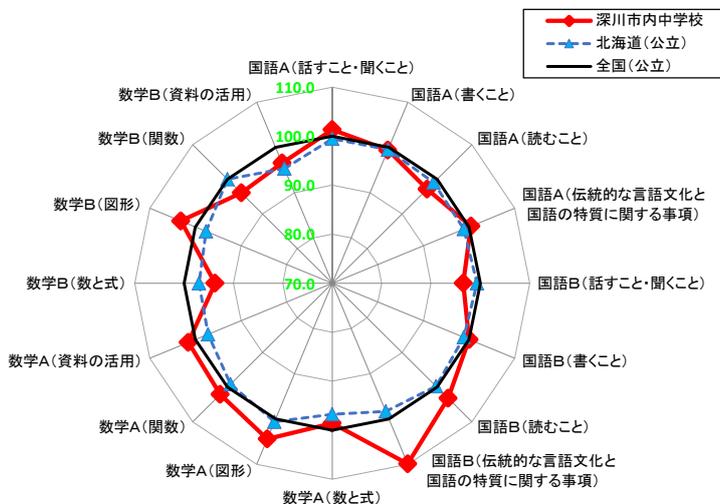
【深川市の学力向上策】

- ◎ 小・中学生を対象にした家庭学習や長期休業中の学習支援を行う「学習サポートプログラム」の継続
- ◎ 集団生活及び学習の仕方、進路指導を含む学校生活のための手引による家庭学習の支援の充実
- ◎ 教員の独自配置による少人数学習や習熟度別学習の充実
- ◎ 同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育の構築及び小・中学校における特別支援教育支援員の配置
- ◎ 市立図書館と連携した朝読書や家読の推進
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん運動」及び「ノーゲームデー」による生活習慣の確立に向けた取組の充実
- ◎ 学び続ける教員像の具現化に資する教育振興会などを活用した研修機会の充実

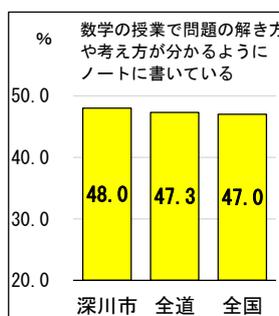
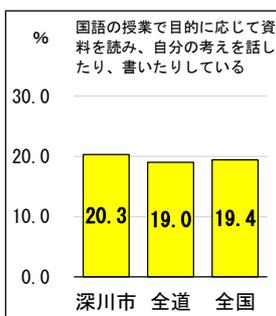
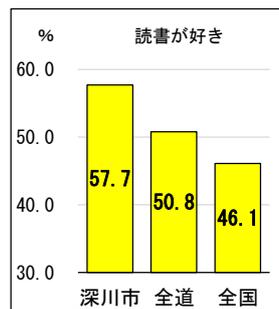
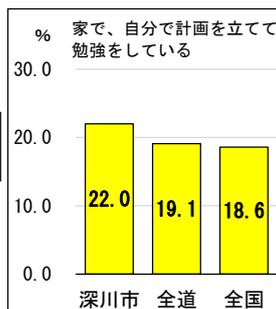
■ 深川市内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 2校、生徒数: 123人)

【教科全体の状況】

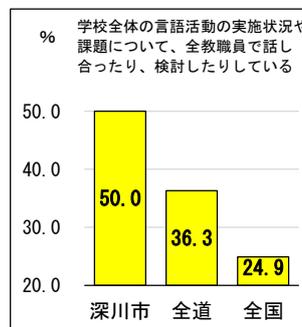
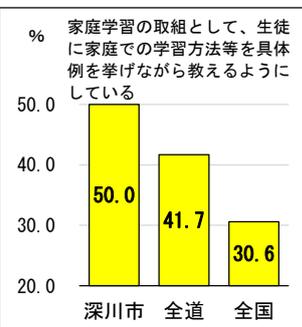
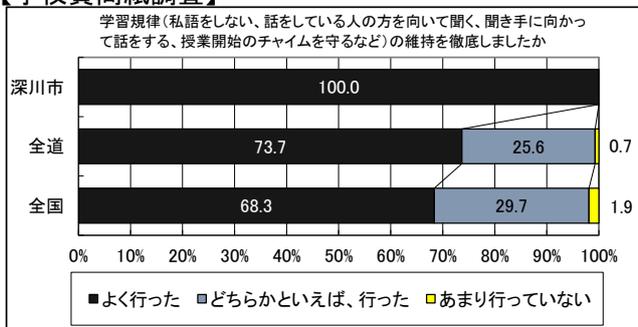
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」「関数」「資料の活用」、Bでは、「図形」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした結果、家で、計画を立てて勉強する生徒が増えるとともに、学習内容の定着が図られ、国語Aの「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Aの「図形」「関数」「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員で話し合ったり、検討したりした結果、授業改善が図られ、国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている生徒や、数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書く生徒の割合が増え、国語Bの「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Bの「図形」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【深川市の学力向上策】

- ◎ 小・中学生を対象にした家庭学習や長期休業中の学習支援を行う「学習サポートプログラム」の継続
- ◎ 集団生活及び学習の仕方、進路指導を含む学校生活のための手引による家庭学習の支援の充実
- ◎ 教員の独自配置による少人数学習や習熟度別学習の充実
- ◎ 同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育の構築及び小・中学校における特別支援教育支援員の配置
- ◎ 市立図書館と連携した朝読書や家読の推進
- ◎ 「早寝早起き朝ごはん運動」及び「ノーゲームデー」による生活習慣の確立に向けた取組の充実
- ◎ 学び続ける教員像の具現化に資する教育振興会などを活用した研修機会の充実